

在校生・卒業生・保護者・教職員

進路通信 2014/06 号外

北海道釧路湖陵高等学校進路指導部

◆今週「金・土・日」の学習が実は「勝負」◆

4日間の定期試験お疲れ様でした。特に1年生は、高校に入学して初めての定期試験ゆえに、疲れたと思います。最終日に向けて、昨日の夜は睡眠時間を削って勉強したという人も多いでしょう。そんな「疲れた」人たちには酷に聞こえるかもしれませんが、「今日と週末の学習が実は大切」なのです。特に3年生は、今夜、受験勉強することができるかどうか、勝負です。「勝負しようとしなければ、試合にすらならない」というのは、何も部活動の世界だけではなく、勉強の世界でも同じです。

中学生の時なら、1・2年生の時なら、試験を終えた日は「のんびり」だけで終わった人も、「金・土・日」に勝負しましょう。きっと「つらい・眠い」などいろいろあるでしょう。でも勉強しなさい。自分に何か目指すものがあるならば、勉強しなさい。今までと同じ行動をしているだけでは、同じ結果しかでませんよ。結果を変えたいと思うなら、今日の行動を変えるのが一番です。

しかし、疲れをとるのも大切です。だらだら、眠い目をこすって勉強するのではなく、「オンとオフ」をはっきりさせた勉強が今週末は大切です。全道大会が迫っていて、今週末は部活動で忙しい人もいるでしょう。部活動の最中は、「勉強しなくっちゃ」などと余計なことを考えず、部活動に集中したらよいと思います。しかし、試験直後は、実は大切な時間なのに、それをわかっていない生徒があまりにも多いので、いつまでたっても成績が伸びないのです。今週末、「オン・オフ」をはっきりさせて湖陵生みんなで勉強しましょう。

◆なぜ、今週末が「勝負」なの？◆

定期試験は、試験範囲の中で、「ポイント」になる部分が出題されています。中には、難しい応用問題もあるでしょうが、基本的には、授業で学んできたことをもとに、制限時間内にどれだけ自力で解く力がついたかを試しています。だからこそ、できなかった問題は「自分の弱点」なのです。弱点はいつ補強しても同じ、ではありません。弱点は大げなのです。手当をしないと、これからどんな勉強をしても、そこから知識などがこぼれ落ち、定着しません。早く行うことが何より大切です。

定期試験終了日は「自分の弱点」を自覚しやすい日。この日を無駄にしてはいけません。だからこそ、できなかった問題について、今週末、調べ直したり、覚え直したり、解き直したりすることが大切。

「赤点でなくてよかった」などと言って、解けなかった基本問題や書けなかった英単語を放置しておく（覚え直さない）ことが、どれほどあとで、受験の致命傷になるか、先輩方は「進路のしおり」で語ってくれています。

特に、英単語や教科書に太字記載されている事項など、基本事項で間違えたもの、書けなかったものは、これからの勉強の伸びを脅かすものですから、今週末にもう一度覚え直したり、調べ直すことが大事です。試験返却まで待ってはいけません。

◆今週末何もしないよりは、自分のスタイルで◆

そうは言っても、どう取り組むかわからないという人もいるでしょう。わからないからやらないと言っている人は、永久にしない人ですよ。すべきことそのものではなく、すべきことを考える参考のためにいくつかのことを箇条書きにしておきます。「書かれていることをすべて参考にせよ。」というわけではありません。見て、今週末、自分がすべきこと、できる範囲のことを考えましょう。

・ステップ1：「どこで、どんなふうに学んだことか？」の確認

→ノート、教科書、問題集、資料集

→自分はその部分の勉強をどう取り組んだか。

（ポイントだと思って取り組んだか）

（ノートなどにも重要事項として記入できているか）

（類題の演習を自力でしたか）

・ステップ2：「弱点を克服する一手を打つ」

弱点ゆえ、自分のものにするには手当て（特別な努力）が必要である。

→間違った部分だけではなく、そのページや間違った事項が書かれている「まとめり」を何度も音読する。英語や古典だけの話ではない。

→試験で出た問題と同じような問題を4ステップで探す。解く。

→試験問題をもう一度自力で解く。

→書けなかった単語の覚え直し。

→資料集などで自分で確認して、考え直す。

・ステップ3：「受験勉強につなげる」

- 試験で出た単語→特に重要→辞書などで、例文にあたる。他の意味等の確認。
- 試験に出た文法事項や単語を自分が使っている単語帳や文法書で再確認。
- 類題を解く。
- 自分の弱点→弱点であることが受験直前自覚できるよう印をつけておく。
- とことんなぜそうなるか、考えてみる。

どのステップまで取り組むにしても、「勉強したのに出来なくて悔しい」という思いが原動力になります。「悔しい」とか、「なぜ間違えたんだ？」という思いは、試験勉強に対して、まじめに取り組まなければ生まれないものです。試験のできばえがいまいちだった人も、まじめに試験勉強をした人は、伸びる可能性があるのですよ。

◆定期試験は2度「おいしい」◆

自分の弱点を2回知ることができるのが、この定期試験です。今週末自覚できるのは、試験を解いてみて、明らかに解けなかった、書けなかった部分についてです。試験が返却されて自覚できるのは、自分では正解だと思っていた（出来たと思っていた）のに、×がついたり、減点されたりしている部分についてです。これも減点されている理由を確認することが弱点克服の第一歩になります。自分の弱点を意識的に、2度確認してみましょう。

- ・いろいろ述べてきましたが、まあだまされたと思ってやってみましょう。
- ・体は意外と疲れています。部活動で体を動かす人、特に気をつけてください。
- ・疲れているゆえ、交通事故にはいつも以上に気をつけてください。
- ・昨年までと少しでも違う「試験後の週末」を期待しています。

◆センター試験の時間割発表◆

現３年生が受験する、平成 27 年度大学入試センター試験の時間割発表が先日発表されました。今年度から実施される、理科の基礎科目がどこに入るのか、注目されていましたが、2 日目の最初の時間に入ることに決まりました。ポイントをまとめておきますので確認してください。

- ①地歴・公民は「同一名称を含む 2 科目」は受験できません。つまり「日本史 A」と「日本史 B」や「政経」と「倫理・政経」という組み合わせの 2 科目受験はできません。
- ②英語は原則として、筆記を受験した者は、リスニングも受験することになります。
- ③「理科①」は 2 科目で 6 0 分です。1 科目だけの受験は認められません。
- ④「地歴・公民」「理科②」で 2 科目受験する生徒は、最初の 60 分に受験する科目を「第 1 解答科目」、10 分間の解答用紙回収時間を経て、後半 60 分に受験する科目を「第 2 解答科目」といいます。2 科目受験する場合、どちらを最初に解答するかは自分で決められます。ただし、「日本史 B」と「倫理」で受験する場合、地歴・公民が 2 科目必要な国公立大を受験する場合は、どちらから受けても同じですが、仮に第 1 解答科目に「倫理」を選んだ場合、センター利用の私大に出願しようとする際、「第 1 解答科目を使う」となっていて、倫理が使える科目に入っていない場合、出願できなくなります。一般的には、高得点がねらえる科目を第 1 解答科目にするのがいい（1 科目しか必要としない学校は大抵、第 1 解答科目の点数を使います）ですが、あらゆる可能性を考えて受験しなければなりません。そもそも、「倫理」では受験できない国公立大もありますから注意が必要です。試験時間は 60 分＋ 10 分＋ 60 分の計 130 分の試験時間です。途中の 10 分は休憩ではありませんから退室することはできません。
- ⑤センター試験の出願

	外国語	「英語」他	リスニング 1 7 : 1 0 ~ 1 8 : 1 0
第 2 日	理科①	「物理基礎」「化学基礎」 「生物基礎」「地学基礎」 から 2 つ	9 : 3 0 ~ 1 0 : 3 0
	数学①	「数学 I」「数学 I A」	1 1 : 2 0 ~ 1 2 : 2 0
	数学②	「数学 II」「数学 II B」	1 3 : 4 0 ~ 1 4 : 4 0
	理科②	「物理」「化学」「生物」「地学」	2 科目選択 1 5 : 3 0 ~ 1 7 : 4 0 1 科目選択 1 6 : 4 0 ~ 1 7 : 4 0

	教 科 ・ 科 目		試験時間
第 1 日	地歴 公民	「世界史 A」「世界史 B」 「日本史 A」「日本史 B」 「地理 A」「地理 B」 「現代社会」「倫理」「政経」「倫理・政経」	2 科目選択 9 : 3 0 ~ 1 1 : 4 0 1 科目選択 1 0 : 4 0 ~ 1 1 : 4 0
	国語	「国語」	1 3 : 0 0 ~ 1 4 : 2 0
			筆記 1 5 : 1 0 ~ 1 6 : 3 0